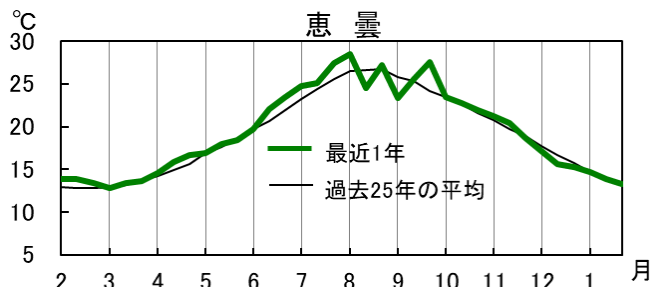
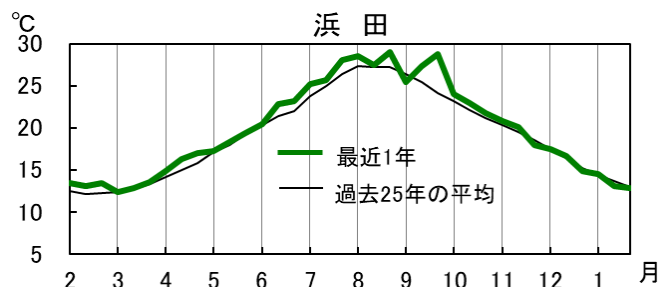




《1月の海況》



1月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	13.5°C	-0.2°C	平年並み	13.9°C	±0.0°C
中旬	やや低め			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2.4倍、マアジは平年の5割でした。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は74.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は3,373トンで平年の5.9倍でした。また、マイワシが4年ぶりに1月に漁獲されました(336トン)。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ、ヤリイカがわずかに漁獲されましたが、1月の操業船が2隻のみであったため、漁獲量は非公開とします。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマフグ、ソウハチ、アカムツを主体に、1統1航海当りの漁獲量は13.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マフグは平年の9割、ソウハチは平年の1.1倍、アカムツは平年の1.3倍でした。その他、サワラ類は平年の4.3倍、マダイは平年の2.8倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.5倍、アンコウ類は平年の1.2倍と好調でしたが、キダイは平年の1.0倍、ヤリイカは平年の8割、スルメイカは平年の7割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではニギス、アカムツ、アンコウ類主体の漁況で、総漁獲量は125トンでした。1統1航海当りの漁獲量は653kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の1.7倍、アカムツは平年の1.1倍、アンコウ類は平年の4割でした。その他、マフグは平年の4.3倍、マダイは平年の1.7倍、キダイおよびヤリイカは平年の1.4倍、マトウダイは平年の1.3倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍、ソウハチは平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.9倍、サワラ類は平年の1.8倍、マアジは平年の2.1倍でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1経営当りの漁獲量は23.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向はブリが平年の25倍でした。隠岐地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は3.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.6倍、サバ類は平年の2.1倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は40.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の3.1倍でした。石見地区ではブリ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.7倍、ヒラマサは平年の1.5倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は35.6kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.5倍でした。

【令和7年1月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類	4,107トン	248%	206%	74.7トン	230%	282%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ、ヤリイカ	—	—	—	—	—	—
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	マフグ、ソウハチ、アカムツ	219トン	117%	99%	13.7トン	117%	96%
小型 底びき網	大田	ニギス、アカムツ、アンコウ類	125トン	87%	69%	653 kg	94%	82%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、サワラ類、マアジ	152トン	173%	156%	15.2トン	156%	131%
	石見	ブリ	47.0トン	749%	516%	23.5トン	1123%	591%
	隠岐	マアジ、サバ類	10.3トン	91%	62%	3.4トン	61%	46%
釣り・縄	出雲	サワラ類	27.5トン	256%	132%	40.4kg	156%	109%
	石見	ブリ、ヒラマサ	18.0トン	138%	117%	28.3kg	93%	99%
	隠岐	ブリ	14.2トン	259%	138%	35.6kg	133%	126%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ